

NEWS RELEASE

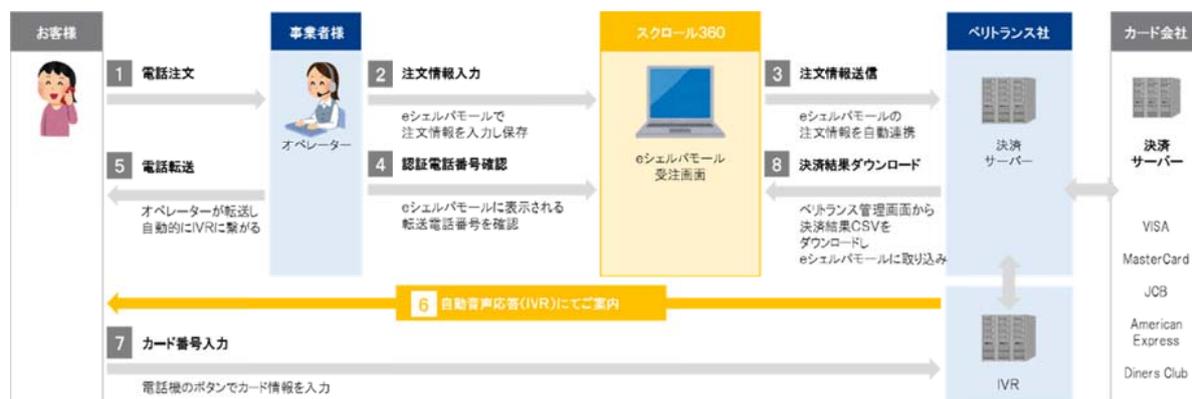
ベリトランス、「IVR 決済ソリューション」を スクロール360のEC一元管理システム「e シェルパモール」に提供 ～電話受注時における、EC 事業者環境でのクレジットカード情報の非保持化を実現～

株式会社デジタルガレージ（東証一部 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：DG）の子会社で、決済事業を手がけるベリトランス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員社長：篠 寛、以下：ベリトランス）は、株式会社スクロール360（本社：静岡県浜松市中区、取締役社長 山崎正之）が提供する EC 事業者向け一元管理システム「e シェルパモール」に対し、電話受注時の音声自動応答型クレジットカード決済サービス「IVR（音声自動応答）決済ソリューション」の提供を開始しました。

■ 「IVR 決済ソリューション」概要

「IVR 決済ソリューション」は、TV・カタログ通販や予約サービス等、消費者が電話で商品やサービスを購入する際、クレジットカード決済を希望すると、オペレーターから自動音声に切り替わり、消費者が自らカード番号を入力し決済を完了させることが可能なサービスです（特許第 5457498 号）。

EC 事業者は「e シェルパモール」に搭載された本機能を利用することで、自社システム・環境でクレジットカード情報を取り扱う必要がなくなるため、一般社団法人 日本クレジット協会が発表した「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画*1（以下：実行計画）」がクレジットカード加盟店に要請している「クレジットカード情報の非保持化」を実現することが可能です。



【 「e シェルパモール」 と 「IVR 決済ソリューション」 の連携イメージ 】

また、本ソリューションは外線転送可能な電話機とインターネット接続した PC があれば、システム開発・連携をすることなく手軽で安価に導入でき、オペレーター1席からでも利用できます。通販事業者をはじめ、不動産会社、葬儀会社、交通機関や旅行代理店など、300社以上の各種業種の企業

NEWS RELEASE

に活用されており、事業者におけるセキュリティ環境整備の支援だけでなく、電話受注業務の負荷軽減にも貢献しています。

▶「IVR 決済ソリューション」概要：<https://www.veritrans.co.jp/payment/ivr.html>

■背景

E コマースの拡大に伴いクレジットカード決済が増加する中、システム脆弱性を突いた不正アクセスによるカード情報の漏えいも拡大しています。また、漏えいしたカード情報や偽装カードを悪用した不正使用も上昇傾向にあり、2016年の被害額は140億円と2012年から5年で約2倍に増加^{*2}しました。

このような背景を受け、「日本再興戦略」の一環としてキャッシュレス決済の普及を図る日本政府は、クレジットカードを安全に利用できる環境整備・法整備を推進しています。2016年12月には、臨時国会にて割賦販売法^{*3}の改正法案が可決され、販売事業者ではカード情報の適切な管理と不正使用防止対策の実施、カード会社・決済代行事業者では、悪質な加盟店排除を目的に、事業者を登録制とし加盟店管理強化が義務化されました。

民間では、2016年2月にクレジット取引セキュリティ対策協議会が「実行計画」を発表しました（現在は2017年版に更新）。本実行計画では、カードを取り扱う全事業者のセキュリティ対策強化を掲げており、EC事業者においては2018年3月末までに「自社環境でのカード情報の非保持化」または「PCI-DSS^{*4}への準拠」に加え、「多面的・重層的な不正使用対策の導入」が要請されています。

■今後の展開

ベリトランスは、社会インフラに成長した決済サービスの担い手として、実行計画が掲げる、2018年3月末に迫った非対面加盟店のカードセキュリティ強化対応を推進していきます。今後も、決済サービスにおけるリーディングカンパニーとして、政策や業界動向をスピーディに汲み取り、EC事業者・消費者に必要とされる安全安心な環境、ソリューションを内外より拡充してまいります。

*1 「クレジット取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画」

http://www.j-credit.or.jp/security/pdf/plan_2017.pdf

*2 出典：「クレジットカード不正使用被害の集計結果について」一般社団法人日本クレジット協会発表

*3 割賦販売法：クレジットカード取引など割賦販売に係る公正・健全な取引の確保を目的に定められた法律

*4 PCI-DSS：「Payment Card Industry Data Security Standard」の略で、VISAやJCBなどクレジットカードの国際ブランドが共同策定したカード情報保護のためのグローバルセキュリティ基準。

NEWS RELEASE

【eシェルパモールについて】 <http://www.scroll360.jp/service/system/e-sherpamall/>
株式会社スクロール360が提供するEC一元管理システム。楽天、Yahoo!ショッピング、Amazon等のECモールの商品・販売・在庫情報を一元管理でき、モール毎の受注情報の自動取込み機能を有する。各種カートシステムとも連動することで、自社サイトとの商品・販売・在庫情報等の連携も可能に。(2016年10月から販売)

【ベリトランスについて】 <https://www.veritrans.co.jp/>
デジタルガレージグループで、オンライン決済事業を提供する決済プロバイダー。近年では、モバイルPOS、モバイルバーコード決済等のオフライン決済事業も提供。社会インフラに成長した決済サービスの担い手として、DGグループのイーコンテクストと共に、行政・クレジットカード業界への提言、政策や業界動向に応じたサービスのスピーディーな提供など、EC事業者・消費者に必要とされる安全安心な環境、ソリューションを拡充しています。